

Ⅲ 後 期 日 程

※ 共通事項（前期日程・後期日程に共通する事項の説明）
（１～49ページ）を熟読してください。

1 個別テスト等

(1) 試験日程

① 人文学部，教育学部，経済学部

期 日	時刻	学部等		
		人文学部	教育学部	経済学部
3 令 月 和 12 9 日 年 (金)	9 : 00	受 付 (9 : 00 ~ 9 : 30)		
	10 : 00			
		小論文 10 : 00 }	面 接 10 : 00 }	総合問題 10 : 00 }
		11 : 30 (90分間)		11 : 30 (90分間)

② 理学部，工学部，都市デザイン学部

期 日	時刻	学部等		都市デザイン学部		
		理 学 部	工 学 部	地球システム 科 学 科	都 市 ・ 交 通 デザイン学科	材料デザイン 工 学 科
令 和 9 年 3 月 12 日 (金)	8 : 30	受 付 (8 : 30 ~ 9 : 00)				
	9 : 30					
		数 学 9 : 30 }	理 科 9 : 30 }	小論文 9 : 30 }	数 学 9 : 30 }	数 学 9 : 30 }
		11 : 30 (120分間)	11 : 00 (90分間)	11 : 00 (90分間)	11 : 30 (120分間)	11 : 30 (120分間)
	11 : 00					
	11 : 30					
	13 : 00				休 憩	受 付 (11 : 30 ~ 12 : 00)
					面 接 13 : 00 }	面 接 13 : 00 }

③ 医学部，薬学部

期 日	学部等		医学部	薬学部
	時刻		看護学科	
令和 9 年 3 月 12 日 (金)	8 : 30	受付 (8 : 30 ~ 9 : 00)		
	9 : 30		小論文 9 : 30 }	小論文 9 : 30 }
			11 : 30 (120分間)	11 : 00 (90分間)
	11 : 00		休 憩	休 憩
	11 : 30			
	12 : 00			
	13 : 00		面接 13 : 00 }	面接 13 : 00 }

④ 芸術文化学部

期 日	学 部 等 時刻	芸術文化学部	
		募集区分 a	募集区分 b
令 和 9 年 3 月 12 日 (金)	8 : 30	受 付 (8 : 30 ~ 9 : 00)	
	9 : 30	実技検査 9 : 30 }	小論文 9 : 30 }
		12 : 30 (180分間)	11 : 00 (90分間)
	11 : 00		

(2) 試験場

学力検査，実技検査，小論文，総合問題及び面接は，学部ごとに次の試験場（予定）で行います。

なお，学部ごとの試験場案内は，受験票と併せて通知します。

学 部 名	試 験 場	所 在 地
人文学部	富山大学試験場 (五福キャンパス試験場)	富山市五福3190
教育学部		
経済学部		
理学部		
工学部		
都市デザイン学部		
医学部	富山大学試験場 (杉谷キャンパス試験場)	富山市杉谷2630
薬学部		
芸術文化学部	富山大学試験場 (高岡キャンパス試験場)	高岡市二上町180

(3) 試験当日の注意事項

- ① 試験当日は、「大学入学共通テスト受験票」及び「本学受験票」を必ず持参すること。受験後も紛失しないよう保管すること。
- ② 各学部において指定した教科・科目等を受験するときは、必ず「本学受験票」を携帯すること。
- ③ 各学部において指定した教科・科目等の一部でも欠席した者は、失格とする。
- ④ 試験当日は、**試験開始30分前までに**指定された試験場に集合すること。
- ⑤ 試験室への入室は試験場の指示に従うこと。
- ⑥ 試験開始時刻に遅刻した場合は、**試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めるが、試験時間の延長は認めない。**ただし、面接については、指定された時刻に遅れた場合、原則として、受験を認めない。
- ⑦ 試験室では、**本学が指定した所持品（受験票発行時に案内する「受験上の注意」に記載のあるもの）**以外のものは使用を許可しない。ただし、受験上特別な配慮を希望し認められた者には、必要なものの使用を許可する。
- ⑧ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れ、身に付けないこと。これらを時計として試験室内で使用することはできない。
- ⑨ 解答用紙には、所定の欄に受験番号（横書きで算用数字使用）を記入し、氏名は記入しないこと。
- ⑩ 試験途中での退室は認めない。
- ⑪ 試験当日はなるべく公共交通機関を利用すること。なお、五福キャンパスにおいては、自動車、バイク及び自転車での大学構内への乗り入れを禁止する。
- ⑫ 不測の事態により、試験時間等本学生募集要項の内容を変更する必要がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせするため、最新の情報を必ず確認すること。
富山大学ウェブサイト <https://www.u-toyama.ac.jp>

感染症に関する注意事項について

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻しん等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験は認められません。ただし、病状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防対策を励行し、自己の健康管理を徹底するように注意してください。

試験場においても、感染症の流行状況等を踏まえ、換気の確保や手洗い等の手指衛生励行などの対策を行います。なお、マスク着用の場合は、試験中の本人確認や面接実施時にマスクをはずすよう指示することがあります。

駅及び試験場周辺等における合格電話・電報等のあっせん行為への注意

試験前日又は試験当日、最寄りの駅又は試験場周辺等で「合格電話・電報」等の受付をする者がいても、これらの行為は本学とは何ら関係のないものであり、これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

(4) 不正行為について

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録すること。また、共通テスト出願サイト及び本学インターネット出願サイトから取得した受験票等の内容を改ざんすること。

イ 解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入すること等）をすること。

ウ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。

エ 他の受験者に答えを教えるなどカンニングの手助けをすること。

オ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

カ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

キ 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。

ク 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具※（定規、コンパス、電卓等）を使用すること。

ケ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります。（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）

※イヤホンは、耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となります。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、事前相談による申請が必要です。）

コ 「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具※や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります。（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

※ 芸術文化学部募集区分 a の受験者が、実技検査用に持ち込み、使用する鉛筆デッサン用具一式は、不正行為の対象となる補助具には該当しません。

上記①及び②について、追加・変更が発生する場合は、本学ウェブサイト及びインターネット出願サイトを通じて、受験者に案内します。

2 合格者発表

日時 令和9年3月21日(日) 10時

全学部の合格者の受験番号を本学のウェブサイト（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧できます。）に掲載し、合格者には合格通知書を郵送します。

なお、合否についての電話その他による問い合わせには一切応じません。

3 入学手続

詳細については合格者に郵送により通知します。

(1) 入学手続日 令和9年3月27日(土)まで

(2) 入学手続書類送付先

○人文学部、教育学部、経済学部、理学部、工学部及び都市デザイン学部

富山大学 学務部入試課

〒930-8555 富山市五福3190

○医学部及び薬学部

富山大学 杉谷地区事務部学務課（入試担当）〒930-0194 富山市杉谷2630

○芸術文化学部

富山大学 芸術系総務・学務課（入試担当）〒933-8588 高岡市二上町180

(3) 入学手続時に要する経費

① 入学料 282,000円〔予定額〕

なお、上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合は、改定時から新たな入学料を適用します。

また、入学料は、入学手続完了後はどのような事情があっても返還しません。

② その他 学生教育研究災害傷害保険等の費用（49ページ参照）が別途必要です。

（注）授業料の納付方法

入学後（前期分は5月、後期分は11月）に、それぞれ口座振替により徴収します。

なお、納付金額・納付方法等の詳細については、入学手続時に通知します。

〈参考〉令和8年度授業料 前期、後期 各267,900円（年額535,800円）

(4) 注意事項

① 入学手続において、合格者は必ず大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」を提出しなければなりません。

② 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

③ 一つの国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に入学手続を行った者は、それ以後、これを取り消して他の国公立大学・学部に入学者選抜試験を行うことはできません。